

1 平成26年度普通会計決算見込みの概要

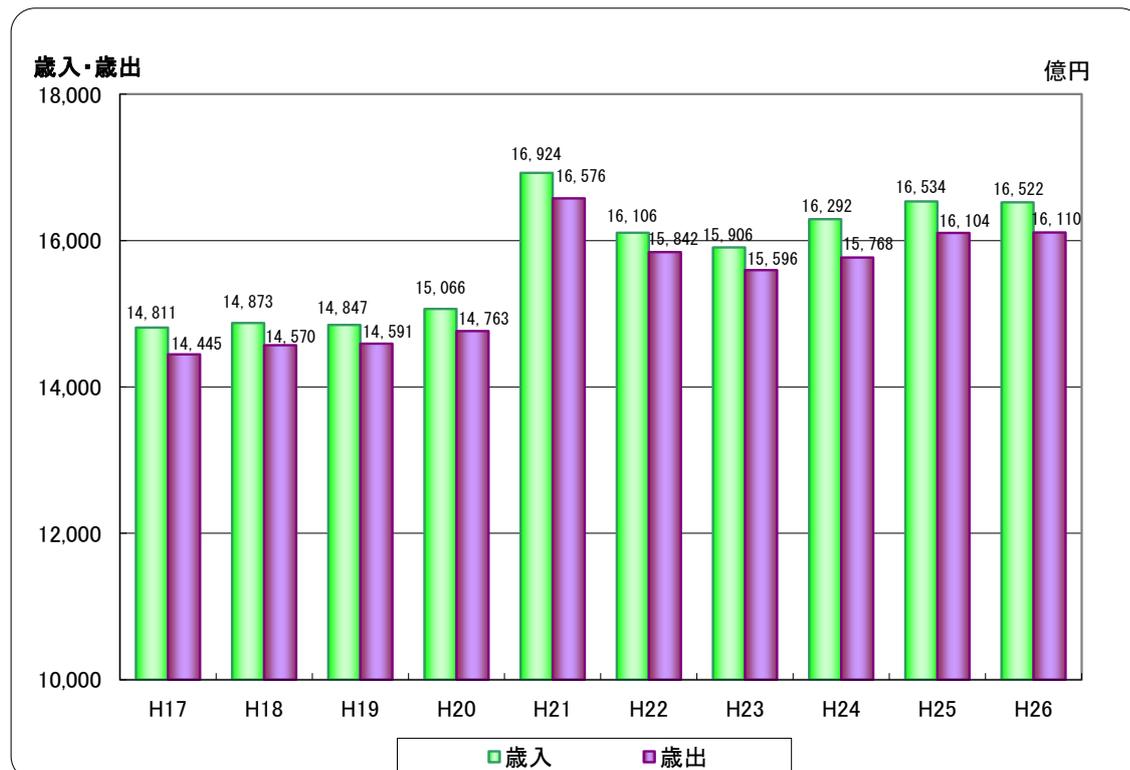
- 歳入については、景気回復の動きにより法人二税が堅調であることや地方消費税率の引上げなどにより、県税収入は増加した。一方、それに伴い、地方交付税及び臨時財政対策債は減少した。
また、国庫支出金は、景気・経済・雇用対策のための交付金等の減に伴い減少したものの、国の補助事業や交付金を最大限活用することにより、県債の発行額は減少した。
- 歳出については、消費税率引上げに伴う景気の腰折れを回避するため、着実な景気回復と雇用の確保に取り組んだほか、投資的経費が減少する中、県立学校・民間大規模建築物の耐震化や保育所の緊急整備等、県民生活の安全・安心を図るための事業を重点的に実施した。
また、人件費、公債費及び社会保障関係費が増加する中で、「財政改革推進プラン」に基づき、職員定員の削減、事務事業の見直し等の歳出抑制に努めた。

- ・ 実質収支は39年連続の黒字
- ・ 通常債の残高が過去最大の402億円減少
- ・ 財政調整基金等三基金の残高は467億円となり、5年連続で増加

平成26年度決算収支状況 (単位：百万円)

区 分	決算額
歳入総額 (a)	1,652,242
歳出総額 (b)	1,611,005
翌年度へ繰り越すべき財源 (c)	37,047
実質収支 (a)-(b)-(c)	4,190

最近10年間の決算規模の推移



※普通会計

総務省が実施する「地方財政状況調査」において、総務省が指定する公営事業会計以外の会計を総合して一つの会計としてまとめたものをいう。

本県の場合、一般会計及び、県営埠頭施設整備運営事業と流域下水道事業の2会計を除く特別会計を合算したものである。

2 歳入歳出決算の状況

平成26年度普通会計決算見込み対前年度比較表

(単位:百万円、%)

区 分	決 算 額		増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)
	平成26年度 (A)	平成25年度 (B)		
歳入総額 (a)	1,652,242	1,653,444	▲ 1,202	99.9
(1) 県税	551,621	521,461	30,160	105.8
法人二税	122,570	114,615	7,955	106.9
地方消費税	125,583	103,121	22,462	121.8
その他	303,468	303,725	▲ 257	99.9
(2) 地方譲与税	94,765	79,650	15,115	119.0
地方法人特別譲与税	90,672	75,135	15,537	120.7
その他	4,093	4,515	▲ 422	90.7
(3) 地方交付税等	409,628	428,256	▲ 18,628	95.7
地方交付税	271,928	280,274	▲ 8,346	97.0
臨時財政対策債	137,700	147,982	▲ 10,282	93.1
(4) 国庫支出金	223,728	241,877	▲ 18,149	92.5
(5) 県債(臨時財政対策債除く)	101,725	108,785	▲ 7,060	93.5
(6) その他	270,775	273,415	▲ 2,640	99.0
うち財政調整基金等三基金からの繰入	0	0	0	-
歳出総額 (b)	1,611,005	1,610,430	575	100.0
(1) 義務的経費	991,310	967,054	24,256	102.5
人件費	488,762	478,608	10,154	102.1
うち職員給	361,911	346,695	15,216	104.4
うち共済負担金	72,743	71,719	1,024	101.4
うち退職手当	43,753	50,300	▲ 6,547	87.0
社会保障関係費	287,473	280,578	6,895	102.5
介護給付費負担金	53,022	50,659	2,363	104.7
国民健康保険助成費	48,097	46,211	1,886	104.1
後期高齢者医療負担金	65,617	63,802	1,815	102.8
その他	120,737	119,906	831	100.7
公債費	215,075	207,868	7,207	103.5
(2) 投資的経費	242,238	259,503	▲ 17,265	93.3
補助公共事業費	137,713	140,775	▲ 3,062	97.8
単独公共事業費	79,322	86,653	▲ 7,331	91.5
直轄事業負担金等	19,433	22,420	▲ 2,987	86.7
災害復旧事業費	5,770	9,655	▲ 3,885	59.8
(3) その他	377,457	383,873	▲ 6,416	98.3
税関連交付金	82,877	74,934	7,943	110.6
緊急雇用創出事業費	8,560	6,164	2,396	138.9
公共施設整備基金積立金などの積立金	23,169	37,928	▲ 14,759	61.1
その他	262,851	264,847	▲ 1,996	99.2
翌年度へ繰り越すべき財源 (c)	37,047	41,078	▲ 4,031	90.2
実質収支 (a)-(b)-(c)	4,190	1,936	2,254	216.4
実質赤字比率 (%)	-	-	-	-
連結実質赤字比率 (%)	-	-	-	-
実質公債費比率 (%)	14.2	14.8	▲ 0.6	-
将来負担比率 (%)	247.7	254.2	▲ 6.5	-

歳入

(1) 県税

5,516億円で、対前年度302億円(5.8%)の増。

景気回復の動きにより企業収益が堅調に推移していることから法人二税が80億円の増、地方消費税率の引上げなどにより、地方消費税が225億円の増となったことによるもの。

(2) 地方譲与税

948億円で、対前年度151億円(19.0%)の増。

地方法人特別税を都道府県へ再分配する地方法人特別譲与税が155億円の増となったこと等によるもの。

(3) 地方交付税等

4,096億円で、対前年度186億円(4.3%)の減。

地方財政計画において、景気回復の動きによる地方税の増収等が見込まれたことにより地方交付税及び臨時財政対策債が減少したことによるもの。

(4) 国庫支出金

2,237億円で、対前年度181億円(7.5%)の減。

景気・経済・雇用対策のための交付金、補助公共事業費等が減少したことによるもの。

(5) 県債(臨時財政対策債を除く)

1,017億円で、対前年度71億円(6.5%)の減。

国の補助事業や交付金を最大限活用し、県債の発行を抑制したこと等によるもの。

(6) その他

2,708億円で、対前年度26億円(1.0%)の減。

景気・経済・雇用対策補正予算に係る繰越金が減となったことによるもの。

なお、経費の節減に努めたこと及び県税、地方譲与税等の増収に伴い、財政調整基金等三基金の取崩しは行わなかった。

歳出

(1) 義務的経費

9,913億円で、対前年度243億円(2.5%)の増。

○人件費

4,888億円で、対前年度102億円(2.1%)の増。

退職手当が減少するとともに職員定員の削減を実施したものの、給与減額措置の終了及び給与改定の実施により、職員給が増加したもの。

○社会保障関係費

2,875億円で、対前年度69億円(2.5%)の増。

高齢化の進展等により、介護給付費負担金、国民健康保険助成費等が増となったことによるもの。

○公債費

2,151億円で、対前年度72億円(3.5%)の増。

借入利率の低下により利子は減少したものの、臨時財政対策債の残高累増等に伴い、元金償還額が増となったことによるもの。

(2) 投資的経費

2,422億円で、対前年度173億円(6.7%)の減。

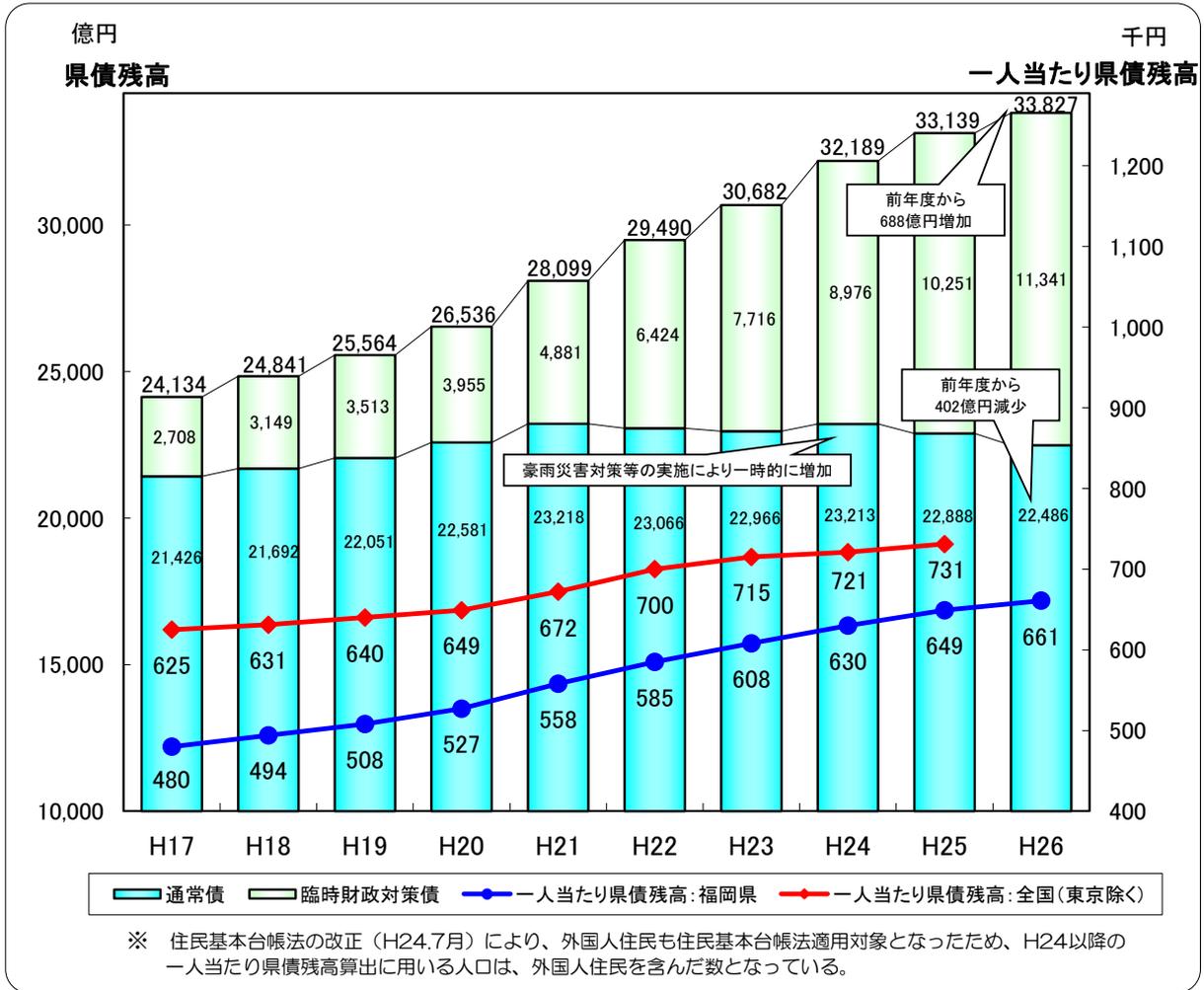
福岡女子大学施設整備費が減となったこと等による単独公共事業費の減、景気・経済・雇用対策補正予算に係る繰越事業の減による補助公共事業費の減及び平成24年夏の豪雨災害に係る災害復旧事業の進捗による災害復旧事業費の減によるもの。

(3) その他

3,775億円で、対前年度64億円(1.7%)の減。

地方消費税の増収に伴い税関連交付金が79億円の増、緊急雇用創出事業費が24億円の増となる一方、公共施設整備基金への「地域の元気臨時交付金」の積立が終了したこと等により、積立金が148億円減少したことなどによるもの。

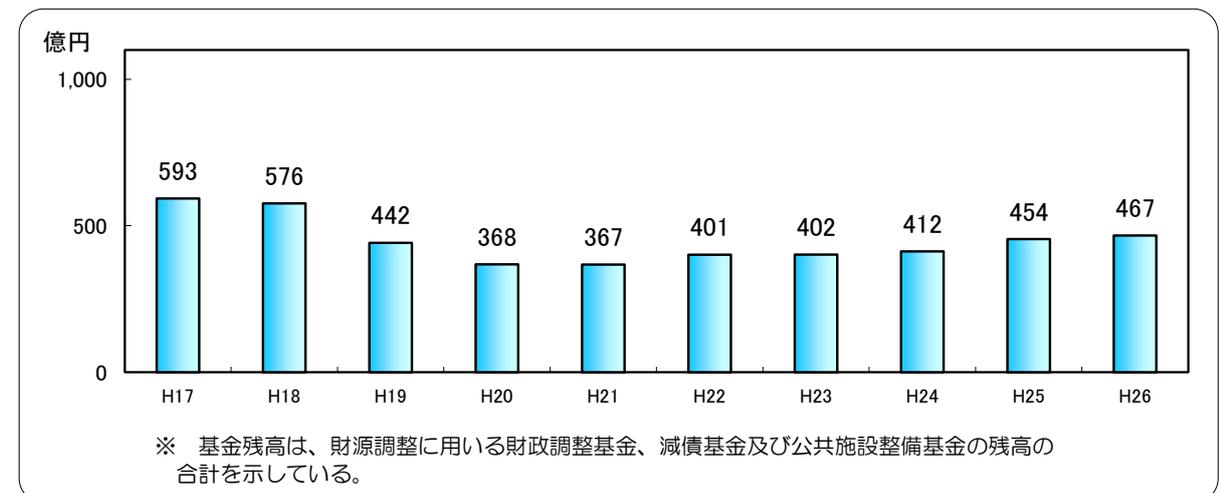
3 県債残高及び基金残高の状況



地方交付税の原資不足により、その振替財源である臨時財政対策債の発行を余儀なくされていることから、県債残高は688億円増加したものの、国の補助事業や交付金を最大限活用し、発行を抑制したこと等により、通常債の残高は402億円減少した。この減少額は過去最大の額となっている。

なお、県民一人当たりの県債残高は661千円となっており、全国平均より低い水準を維持している。（参考：平成25年度は全国で低い方から8番目）

基金残高



財政調整基金等三基金の残高は、経費の節減や収入確保等に努めたことにより、前年度から13億円増の467億円となり、5年連続で増加した。

4 主な財政指標

本県の財政構造は、健全性を維持している。

普通会計の実質収支は黒字であり、公営企業会計についても資金不足は発生していない。実質公債費比率、将来負担比率についても「早期健全化基準」を大きく下回っており、財政の健全性を維持している。

1. 健全化判断比率等(暫定値)

(1) 健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において、地方公共団体の財政健全性を示す指標が設けられた。この比率のいずれかが、早期健全化基準以上になると財政健全化計画、財政再生基準以上になると財政再生計画の策定が義務づけられる。

○実質赤字比率 — % (実質赤字比率がない) (H25 — %)

普通会計における実質赤字の標準財政規模の額に対する比率。本県の実質収支は黒字である。

早期健全化基準 3.75%
財政再生基準 5.00%

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{普通会計の実質赤字額}}{\text{標準財政規模の額}}$$

[標準財政規模の額] 標準的に収入が見込まれる一般財源の総額（県税、地方譲与税、普通交付税、臨時財政対策債、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金の収入見込みの合算額）

○連結実質赤字比率 — % (連結実質赤字比率がない) (H25 — %)

全会計(普通会計及び公営企業会計)における実質赤字の標準財政規模の額に対する比率。本県の普通会計の実質収支は黒字であり、公営企業会計についても資金不足は発生していない。

早期健全化基準 8.75%
財政再生基準 15.00%

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{全会計の実質赤字額}}{\text{標準財政規模の額}}$$

○実質公債費比率 14.2% (H25 14.8%)

普通会計が負担する実質的な公債費の標準財政規模の額に対する比率（過去3か年平均）。本県では、早期健全化基準である25%を大幅に下回っている。

早期健全化基準 25%
財政再生基準 35%

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(A+B)-(C+D)}{E-D}$$

- A… 地方債の元利償還金（繰上償還等除く）
B… 地方債の元利償還金に準ずるもの（公営企業の元利償還金への一般会計からの繰出金、共済組合への建設費償還金など）
C… 元利償還金の財源に充てられる特定財源
D… 元利償還金等に係る基準財政需要額算入額
E… 標準財政規模の額

○将来負担比率 247.7% (H25 254.2%)

公営企業、公社等を含めて、普通会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模等の額に対する比率。標準財政規模の額の増加等により、247.7%と前年度に比べ6.5ポイント低くなっており、早期健全化基準である400%を大幅に下回っている。

早期健全化基準 400%

$$\text{将来負担比率} = \frac{A-B}{C-D}$$

- A… 将来負担額
・ 普通会計地方債現在高
・ 債務負担行為に基づく支出予定額（共同債等除く）
・ 公営企業債に充てる普通会計からの繰入見込額
・ 全職員が自己都合退職したと仮定した場合の退職手当要支給額
・ 公社、地方独立行政法人の負債額
・ 損失補償契約を締結している団体等に対する負担見込額
- B… 将来負担額に充当可能な財源
・ 充当可能基金
・ 充当可能特定財源
・ 地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額
- C… 標準財政規模の額
D… 元利償還金等に係る基準財政需要額算入額

(2)資金不足比率(公営企業会計)

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において地方公営企業の財政の健全性を示す指標として資金不足比率が設けられた。この比率が経営健全化基準以上になると、経営健全化計画の策定が義務づけられる。

本県では、すべての公営企業において資金不足は発生していない。

経営健全化基準 20%

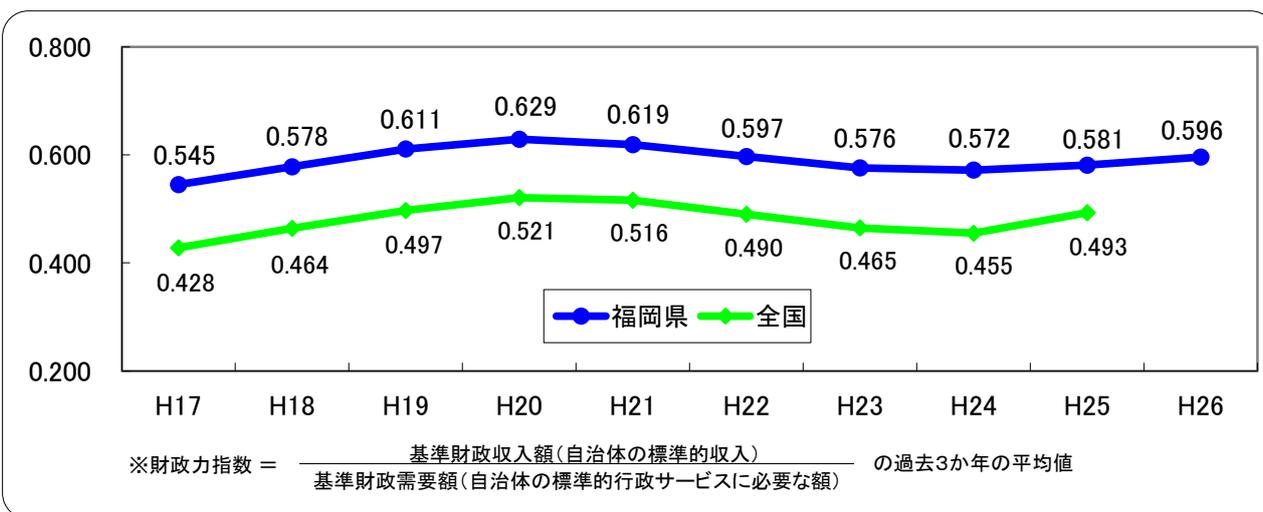
・ 病院事業会計	— % (H25 — %)	} 資金不足比率がない。
・ 電気事業会計	— % (H25 — %)	
・ 工業用水道事業会計	— % (H25 — %)	
・ 工業用地造成事業会計	— % (H25 — %)	
・ 県営埠頭施設整備運営事業特別会計	— % (H25 — %)	
・ 流域下水道事業特別会計	— % (H25 — %)	

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金不足額}}{\text{事業規模}}$$

2. その他の財政指標

○財政力指数 0.596 (H25 0.581)

財政力指数は、財政運営の自主性の度合いを示すものであり、本年度は県税収入の増に伴い基準財政収入額が増加したことにより、0.596と前年度に比べ0.015ポイント高くなった。



○経常収支比率 95.5% (H25 95.4%)

経常収支比率は、財政構造の弾力性を示すものであり、経常的に支出される人件費、公債費、社会保障関係費等に充当した一般財源の伸び率が、同じく経常的に収入される県税収入や地方譲与税等の一般財源の伸び率を上回ったことから、95.5%と前年度に比べ0.1ポイント高くなった。

